



**OKABE**

SUSTAINABILITY REPORT

2025

# OKABE

# 50

# years

Since 1974

株式会社オカベは、おかげさまで創業50周年を迎えました  
2024年5月16日 石川県金沢市の辻家庭園にて、記念パーティを開催しました。



## 私たちの社会的存在意義 Our Purpose



### ■ ビジョン

#### フロアから地球の未来に貢献する

フロアをリノベーションし、メンテナンスすることで、快適な屋内環境の提供にとどまらず、作業者や利用者の健康、地球環境、そして地球の未来に貢献したいと考えています。

### ■ ミッション

#### 先進的なソリューションでフロアに革新を

昨今、社会は目まぐるしく変化しています。技術の進歩も目覚ましく、様々な分野において新しい技術が生まれ、私たちの暮らしも日々変化しています。世界に対してチャンネルを持つ私たちの強みを最大限に生かし、最先端のソリューションを積極的に導入することで、フロアに革新をもたらしたいと考えています。

### ■ バリュー

**誠実 Honesty** すべての人を尊重し、何ごとにもフェアに、そして真摯に取り組む

**挑戦 Challenge** 好奇心と情熱を忘れず、新たな道を恐れない

**楽しむ! Enjoy** すべてのことを全力で楽しむ

ビジョンやミッションを達成するための行動指針や行動基準、それがバリューです。

誠実であること。挑戦し続けること。そして何より楽しむことを大切に、掲げたビジョン・ミッションを成し遂げることをお約束し、私たち株式会社オカベのパーパスとします。



# HIGHLIGHTS FOR 2024

## 創業50年

2024年5月16日

石川県金沢市の辻家庭園にて  
50周年記念パーティを開催しました。

また創業50周年を記念し、  
HISTORY動画を作成しました。



## サステナビリティレポートを初めて刊行

温室効果ガスの排出削減や気候変動による影響の抑制など、持続的な社会づくりへの貢献が世界のスタンダードとなる中、今後のサステナブルな戦略をより明確に打ち出すために「ビジョン2030」を策定し、  
「サステナビリティレポート2024」を刊行しました。

## 大阪にトレーニングセンターOPEN

2024年7月18日(木)、大阪府東大阪市に

「Bona大阪トレーニングセンター」を新たに開設しました。

これまで本社(富山県南砺市)やBonaショールーム、Bona横浜トレーニングセンター(神奈川県横浜市)で開催していたセミナーや施工トレーニングを今後は大阪でも積極的に開催します。





## SDGs×Bona×パーパス経営セミナー

2024年9月18日、Bona大阪トレーニングセンターにて株式会社ゴールドハースト澤田社長とともに、Bonaを軸としたSDGs・パーパス経営への転換をサポートするセミナーを開催しました。SDGsとBonaとの親和性を具体的に示す有意義なセミナーとなりました。



## Bonaが大阪・関西万博 北欧パビリオンのGOLDパートナーに

株式会社オカベでは、高耐久のBonaUV着色塗装を施した幅広のユーロオークフローリングを納入し、Bona接着剤で施工しました。

## パシフィコ横浜のリノベーションにBonaデッキガードが採用

パシフィコ横浜で採用されたBonaデッキガードは、人工木、天然木のどちらにも使用できる外部デッキ用の塗料で、速乾性と高耐久性を誇ります。

また、水性なので取り扱いやすく、臭いもほとんどありません。





## トップメッセージ Top Message



昨年は弊社として初めて、サステナビリティレポートを刊行し、弊社の新しいパーパスやビジョン 2030 へ向けての取り組みを対外的に発信しました。創業 50 周年という節目の年に SDGs 経営に向けて舵を切れたことを大変うれしく思います。また、5 月には記念パーティを盛大に開催できたこともうれしい出来事でした。

昨年の実績は減収、増益で終わりましたが、今後の持続的な成長に向け、社内には大小さまざまな変化がありました。時代の変化に対応するべく、何年間にも渡って行ってきた社内改革もようやく形になり、将来の成長に向けて非常によい条件が整ってきたと改めて確信できた1年でした。

本年は、2015 年に日本で Bona 認定クラフトマン制度を始めてから 10 年の節目の年です。また、日本では 20 年ぶりとなる「大阪・関西万博」が開催されます。この「大阪・関西万博」には、弊社が日本代理店をつとめる Bona 社が北欧パビリオンの GOLD パートナーとして協賛しています。弊社も、昨年末に北欧パビリオンにフローリングを納入し、施工を請け負う形で協力しています。その縁もあり、5 月には北欧パビリオン VIP ルームにて、Bona 認定クラフトマン制度 10 周年記念パーティーを開催する予定です。

Bona トレーニングセンターも、従来の横浜と昨年開設した大阪との 2 拠点体制となりました。今後の活用方法と価値の最大化が大きな課題ではありますが、むしろ楽しみのほうが大きいかもしれません。

本年の重点施策の多くは、よりよい未来に向け、今後のサステナブルな戦略をより明確に打ち出すために策定したビジョン 2030 の実現をますます加速させるものとなっています。初めて実施する「Bona トレーニングキャンプ」をはじめ、新たな取り組みをいくつも計画しており、非常にエキサイティングな 1 年となることを予感しています。1 月の経営計画会議には、Bona 認定クラフトマンの会社の経営陣にもご参加いただき、ますます開かれた会社へと歩みを進めています。2 月には 10 年目を迎えた Bona 認定クラフトマンとの対談企画もあり、こちらも非常に楽しみです。Bona 認定クラフトマンネットワークの拡大に寄与できる企画になるよう考えていますので、皆さまも楽しんでいただければと思います。また、昨年末に新しくリテール製品を発売開始しました。今後のリテール製品のオンライン販売の拡大に寄与してくれるであろうと期待しています。

まだまだすべての面で課題が多い反面、伸びしろが大きいことに期待をし、今年もまずは「全力で楽しむ!」ことを大切に、ひとつひとつに真剣に向き合って取り組んでいく所存です。

みなさまのご支援、よろしくお願い申し上げます。

# 株式会社オカベについて This is OKABE

株式会社オカベは、1974年に南砺市(旧:西砺波郡福光町)にて創業しました。

現在の南砺市や小矢部市、高岡市、黒部市などを中心にビルメンテナンス業を展開。2003年には首都圏営業所を開設しました。2004年からは海外から清掃資機材の直輸入を開始。2009年からはフローリングメンテナンスとリノベーションで世界トップシェアを誇るスウェーデンBona社の日本輸入元として、日本全国にBona社製品の販売を始めました。

2024年には、横浜に続き大阪にもBonaトレーニングセンターを開設しました。



# 大阪・関西万博 北欧パビリオン EXPO 2025



ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。  
Towards a brighter future for all

2025年4月13日(日) - 10月13日(月) 大阪 夢洲(ゆめしま)  
Period Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025 Yumeshima Island, Osaka City

「大阪・関西万博」は、2025年4月13日 - 10月13日の184日間、大阪市此花区の夢洲にて開催されます。

日本国内での国際博覧会の開催は、2005年の「愛・地球博」以来20年ぶりとなり、158カ国と地域が参加します。

「大阪・関西万博」は、2015年9月に国連本部で開催された「国連持続可能な開発サミット」において、持続可能な開発目標として17の目標を掲げたSDGsが達成された社会を目指すために開催され、SDGs達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、実現に向けた取り組みを加速するのに極めて重要な年とも言われています。

## 北欧5カ国が大阪・関西万博でひとつに

デンマーク、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデンの5カ国は、大阪・関西万博に共同でパビリオン出展します。建築家ミケーレ・デ・ルッキ氏とAMD L Circleによる設計および施工請負業者であるRIMONDと建設契約を締結し、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、広さ1200㎡、高さ17mのパビリオンを完成させました。

弊社が日本代理店を務めるBona社(本社スウェーデン)は、この北欧パビリオンのGOLDパートナーです。







弊社は、この北欧パビリオンにオーク3層フローリングを納品、施工しました。オークフローリングは、190mm 幅のナチュラルグレードで、化粧単板は 4mm 厚。長さは 1900mm が 75%、乱尺を 25%混ぜて自然な風合いに仕上げました。カラーは北欧らしさを強調するため「ノルディック・アッシュ」を採用。塗装はセラミック塗装3層を含む UV 9層塗装仕上げで、重歩行にも耐えうる高耐久性仕上です。

フローリング工事には、接着力にすぐれた幅広フローリング用の Bona カンタム T を使用し、Bona 認定クラフトマンである株式会社ワイクラフト様に施工をお願いしました。



# Bona 社について This is BONA

1919年にスウェーデンで生まれたBonaは、サステナビリティを重視したファミリーカンパニーです。世界各地に拠点を持ち、フロアの施工、リノベーション、メンテナンスのための製品やシステムを提供しています。Bonaは100年以上に及ぶ長い期間、生涯にわたって使用できる美しいフロアをつくるためのソリューションを提供することに情熱を注いできました。

持続可能な世界へのBonaの最も重要な貢献は、フロアをリノベーションすることに焦点を当てたライフサイクルベースのビジネスモデルから始まります。サステナブルな製品やシステムを開発することで、バリューチェーン全体に影響を与え、変化を促しています。Bonaが提供するサステナブルな製品やシステムは、政府や法律で定められたガイドラインをクリアするのはもちろんのこと、将来を見据え常に現状の基準を大幅に上回ることを目指しています。

## フローリングの再生

### 経年劣化したフローリングを再生するリノベーション

スウェーデン Bona 社製の専用マシンとペーパー、熟練したエキスパートの手によってフローリング表面を研磨して約 0.8mm 削ります。

フローリングに付着したシミや汚れを物理的に取り除いた後、表面を平滑に仕上げ、コーティングして仕上げます。

フローリングの張り替えと比較して、CO2 排出量を 79%、エネルギー消費量を 90%削減できる

環境にやさしい「フローリング再生サービス」です。





Bonaは環境への悪影響を最小限に抑えるという長期的な目標に基づき、サステナブルな成長を実現するための革新的な技術を継続的に開発しています。Bonaにとってのサステナビリティとは化学製品の成分、環境や気候に影響を与える排出物、Bona製品のライフサイクル、自然の資源を保護する能力などを常に評価することです。

Bonaのサステナビリティへの配慮は、環境とエンドユーザーの健康面だけにとどまらず、作業者の健康や作業環境など、私たちと関わるすべての人々に及んでいます。製品に含まれる成分の安全性や環境面への影響を常に最大限考慮し、リスク分析と影響評価を通じて安全、健康、環境を常に評価しなければならないことがBonaのSHE（安全・健康・環境）ポリシーに明記されています。Bonaのサステナビリティへの取り組みは、技術開発、イノベーション、文化的変化の影響を受けながら常に新しい道を歩む旅でもあります。

## 弾性床材(レジリエントフロア)の再生

Before

After

### 経年劣化した弾性床材（リノリウム・ラバー・PVC・塩ビ）を再生するリノベーション

スウェーデン Bona 社製の専用マシンとペーパー、仕上剤と熟練したエキスパートの手によって傷だらけの傷んだ床材でも、張り替えることなく**カラーリノベーション**で新品と同様に再生できます。プリント面に傷がなければ、既存の床材のデザインをそのまま活かした**クリアリノベーション**で耐久性のあるフロアに生まれ変わります。

床材の張り替えと比較して、CO2 排出量を 90%、エネルギー消費量を 90%削減できる環境にやさしい「フロア再生サービス」です。



# 私たちのビジョン 2030 Our Vision 2030

## フロアリノベーションで革新と創造を *Renovation → Innovation & Creation*

SDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。

SDGsに積極的に取り組む私たちは、2030年までに実現したい  
具体的な数値目標を設定し、これらを達成することで到達する  
自分たちのあるべき理想の姿をビジョン2030として策定しました。  
私たちは、フロアリノベーションを推進することで、  
フロアメンテナンスに革新と新しい価値を創り出します。



### 1. 美しいフロアでサステナブルな未来を実現



Bona のフロアソリューションは、人々の健康や環境に配慮し、資源利用効率を向上させる環境配慮型のフロアソリューションです。  
私たちは、Bona 製品を活用したソリューションを通して、フロアから環境問題にアプローチし、その解決に取り組んでいます。



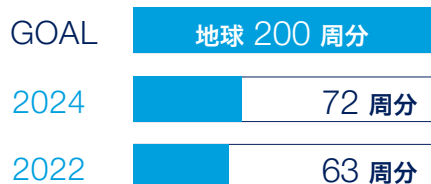


#### <具体的な数値目標と取り組み>

##### ・2030年までに地球200周分のCO<sub>2</sub>削減

床の張り替えと比較して、大幅なCO<sub>2</sub>排出量の削減ができるフロアリノベーションを様々な場面で周知する。

フロアリノベーションの普及に努め、ステークホルダーの意識の変革を促す。



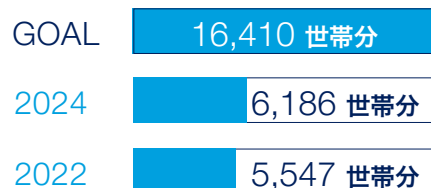
2024年度は、フロアリノベーションを普及させることで、床の張替えと比較して地球80周分のCO<sub>2</sub>排出量の削減を目標に取り組んできました。

結果は72周分、単年度の目標達成率は90%、

2030年のゴールに向けての達成度は36%です。

##### ・2030年までに南砺市全世帯数分のエネルギー削減

床の張り替えと比較して90%以上の省エネ効果のあるフロアリノベーションの普及に努め、エネルギー効率を改善する。



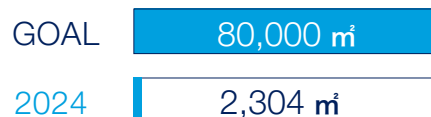
2024年度は、フロアリノベーションを普及させることで、床の張替えと比較して南砺市全世帯分（＝16,410世帯）のエネルギー削減を目標に取り組んできました。

結果は6,186世帯分、単年度の目標達成率は94.2%、

2030年のゴールに向けての達成度は37.7%です。

##### ・2030年までに定期清掃業務の50%をはく離廃液が発生しないBona レジリエントシステムに切り替える

Bona レジリエントソリューションの日本市場への普及に努め、有害化学物質を大量に含むはく離廃液の発生を抑制し、海洋汚染の改善と生態系の保護に貢献する。



2024年度は、得意先の絞り込みや周知に時間を費やしました。定期清掃は契約業務が多いため契約期間中の仕様変更は難しく、弊社を取り巻く環境を見直した上で

ゴールを「延べ80,000m<sup>2</sup>のフロアをレジリエントシステムで管理」と変更しました。

結果は2,304m<sup>2</sup>分、単年度の目標達成率は23.04%、

2030年のゴールに向けての達成度は2.88%です。

## 2. サステナビリティを基軸としたパートナーシップを推進



私たちが掲げたゴールの達成に、ステークホルダーとのパートナーシップは不可欠です。  
よりよい協業関係の構築のために、私たちは積極的に高度な人材の育成に取り組めます。

### <具体的な数値目標と取り組み>

#### ・ Bona 認定クラフトマンネットワークを全国 20 社に拡大

専門的なトレーニングを継続的に提供し、高い職業スキルを備えた人材を育成する。

サプライチェーン全体を通じて、サステナビリティを基軸としたパートナーシップを推進する。

GOAL

20 社

2024

11 社

2023

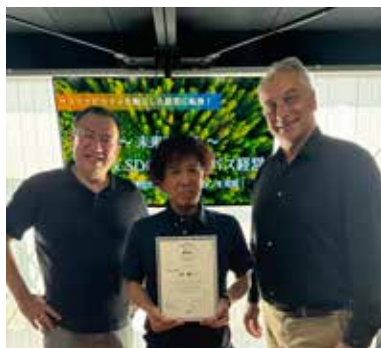
10 社

2024 年度は、合計 5 回のトレーニングを実施しました。

Bona 認定クラフトマン・トレーニング … 1 回

月刊ビルクリーニング様主催のトレーニング … 3 回

その他有料セミナー … 1 回



東大阪市の株式会社大田商会様を  
新たに Bona 認定クラフトマンとして認定



月刊ビルクリーニング様主催の  
Bona スタートアップセミナー年 3 回開催に協力



SDGs x Bona x パーパス経営セミナー  
2024 年 9 月 18 日 Bona 大阪トレーニングセンターにて



# 特別企画：Bona 認定クラフトマン制度 10 周年 記念対談



## Bona 認定クラフトマンの条件

Bona 認定クラフトマン・プログラムのトレーニングコースは、世界各地で開催されています。

トレーニングは最短で2日間から構成され、Bona システムを使用したフローリングの施工、リノベーション、メンテナンス方法のすべてをカバーします。現場に必要な技能だけでなく、みなさまのビジネスを成長させるためにツールを提供し、より頻繁にユーザーと接触する機会を得られるようサポートします。

- Bona ダストフリーサンディングに必要な機材を揃えている
- 所定の経験年数、現場数を経験している
- 競合他社製品を販売していない
- 定められたトレーニングを受講し、認定テストに合格する

## 2025 年 日本で導入 10 周年

2015 年に日本で開始された Bona 認定クラフトマン制度が 10 周年を迎えました。

そこで特別企画として、本対談を企画しました。第 1 期認定者である波多野氏と佐伯氏、そして制度を立ち上げた株式会社オカベの岡部社長が、10 年間の歩みと成果、そしてフローリング施工業界における技術革新と人材育成の展望について語ります。



## 対談者



Bona 認定クラフトマン  
株式会社ブロックコーポレーション  
代表取締役 波多野 浩巳



Bona 認定クラフトマン  
三友商事株式会社  
佐伯 龍一



Bona 日本代理店  
株式会社オカベ  
代表取締役 岡部 学

# Bona 認定クラフトマン制度 10 周年記念対談

本日は Bona 認定クラフトマン制度 10 周年記念の対談にお越しいただきありがとうございます。  
Bona 認定クラフトマンプログラム (BCCP) は、2010 年にアメリカで始まったもので、  
施工会社とお客様からの熱い支持を受け、グローバルに展開が進みました。  
2014 年にシンガポールで体験会があり、日本でもすぐに導入を決定し、翌年 2015 年にスタートしました。  
お二人は 2015 年以前から Bona を導入し、BCCP にも開始当初から参加されています。  
まずはお二人が **Bona の施工店を始めた理由**をお聞かせください。



岡部



波多野

私が Bona の施工店を始めたのは、ビルメンテナンス業からの新しい展開を考えていたことがきっかけです。  
フローリング清掃の需要が増えていたことも追い風でした。



佐伯

私は以前、油性ウレタン塗料を使っていましたが、その有害性に疑問を感じていました。  
そんな時、Bona に出会い、2007 年に導入しました。

## 日本で BCC の制度を始めると聞いた時、どう思いましたか？



波多野

他の国に認定制度があると聞き、日本でも Bona の認知度を上げられると思っていました。  
すぐに参加を希望しました。ロゴマークが使えるのも魅力でした。



佐伯

競合が増えるという懸念もありましたが、自分が早く取得することでビジネスチャンスが広がると感じました。

## 認定クラフトマンになって、何か変化はありましたか？



波多野

施工スキルが上がり、全国の認定クラフトマンとのネットワークができたことが大きいです。  
知識の引き出しも増えて、どんな質問にも答えられるようになりました。展示会での経験も活かしています。



佐伯

認定を持っているということで、自信をもってお客様への説明ができています。  
実際、案件の成約率も上がっています。



岡部



岡部

主催している方としても年に 1 回は集まれる機会を設けて、同じ意識を持った仲間と顔を合わせられる。  
そのたびに認定クラフトマン同士親交も深められて、新しい仲間も増えていくのは大きいかなと思っています。



波多野

皆さんと会うと、いろいろな現場の情報を聞けるので勉強になることも多くて、  
なぜか自分が経験したかのように吸収させてもらえるんですね。



佐伯

仲間との繋がりは何よりも大切です。若い世代にも認定クラフトマンが増えてほしいと思っています。



岡部



## Bona 認定クラフトマンを薦める理由を教えてください

波多野

認定クラフトマンであれば、いち早く Bona の新商品が取り扱えるので、最新の技術をご案内できるのはエンドユーザーにとって大きなポイントですね。認定クラフトマンは、より上のレベルを見据えて対応する意識がありますよね。

佐伯

認定クラフトマンって基本的に木材が好きで仕事している人たちばかりなので、素材をととても大切にします。

アプローチから仕上がりまで、抜け目ない仕事をしてくれる。

認定を持ってない人だと、あくまでビジネス上の選択肢の1つとして

Bona を扱っているという印象があるので、

こうしたマインドの差は大きいような気がしています。

まだ認定クラフトマンになっていない施工店にも迷わず薦めます。

苦労してでもなった方がいい、なるべきだと。

認定クラフトマンになったことで、他の地域の方と年に1回お会いして情報交換ができて、自分が経験していること以上の知識とアイデアを、他の認定クラフトマンの方々からいただける。

そういう仲間が増えることの利点は本当に大きいです。

## Bona の魅力はどんなところですか？

佐伯

常に進化を続けていること、

そしてお客様のあらゆる要望に応えられる製品ラインナップがあることです。

波多野

Bona は業界トップシェアとしての責任感があり、技術革新を続けています。

「Bona Family」として、私たち仲間を大切にしてくれるのも魅力です。

## 今後 Bona に期待することはありますか？

佐伯

ロボット化や SDGs への取り組みに期待しています。

波多野

ダストフリーサンディングやパワードライブのような、業界の常識を覆すような革新的な技術を期待しています。

認定クラフトマンのネットワークがさらに広がり、  
経験値が向上することを期待しています。  
本日は貴重なお話をお聞かせいただき、ありがとうございました。



岡部



対談の完全版は  
コチラ



岡部



岡部



岡部



### 3. 人々の暮らしに幸せを



環境だけでなく、人々の健康にも配慮し、素材にやさしく、かんたんにキレイを実現できる。

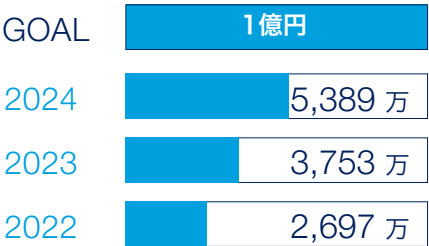
Bona にはそんなすばらしい製品が揃っています。

よりよい暮らしを実現し、人々に幸せをもたらすために、私たちは、サステナブルな製品の普及に努めます。

#### <具体的な数値目標と取り組み>

##### ・ Bona リテール製品のオンライン販売を 1 億円に

環境にも人々の健康にも配慮した製品とソリューションの情報を積極的に発信・普及させることで、持続可能な社会に向けての意識を向上させる。



2024 年度は目標 4,800 万に対し、目標達成率は 112.3%、  
2030 年のゴールに向けての達成度は 53.9%でした。



部屋の空気までキレイにする床用ポリッシュ

## Bonaエアクリーンポリッシュ

床に塗るだけで、床全体が大きなエアフィルターに！  
特許取得の珪藻土が空気中の汚染物質を吸着・光触媒の力で分解

室内の空気は屋外の空気の5倍以上汚れていると言われており、そこにはホルムアルデヒドなどの揮発性有機化合物（VOC）やバクテリア、カビといった有害物質が含まれています。

Bonaエアクリーンポリッシュは、珪藻土と光触媒の力で、アレルギーや喘息といった健康被害をもたらす有害物質を吸着し、無害な水と二酸化炭素に分解します。



## 4. 地域の活性化と人々の社会的安定に貢献



私たちが本社を置く富山県南砺市は、全国平均よりも高齢化率の高い自治体です。

高齢者を含めたあらゆる人たちが暮らしやすい街づくりのために、多様な人材の雇用に努めています。

私たちは、小さな歩みを重ねることで、地域の活性化に貢献できると信じています。

### <具体的な取り組み>

#### ・あらゆる立場の人たちに雇用を創出する

誰もが安心して生き活きと働ける労働環境を実現し、地域の雇用を創出することで、地域の貧困解消に貢献する。

2024年度の障害者雇用は3名で、雇用者数全体の2.1%でした。65歳以上の高齢者の雇用は、クリーンクルーを中心に92名、雇用者全体の74.2%でした。

## 「お客様に、より居心地のよい環境とクリーンな空間、時間を」

### Q. なぜ清掃のお仕事を始めようと思った？

まだ幼い子供がいるため、日常的に消毒や掃除など、清潔な環境を整えて保つことに、より気を配っていました。清掃業は未経験でしたが、私にとって清掃は一番身近な存在だったので、チャレンジしてみよう!と思いました。



某自動車販売店勤務 Sさん

### Q. 実際に働いてみて良かったことは？

清掃は体全体を使うため運動にもなります。清掃後には爽快感や達成感があるので、心身共に、自身の健康に繋がっていると感じています。また、クライアント様からの「ありがとう」のお言葉がモチベーションや活力になっています。

### Q. 仕事をする上で大切にしていることは？

ただ清掃するのではなく、お客様に、より居心地のよい環境とクリーンな空間、時間を提供することが清掃業だと思っています。清掃を通じて、間接的にお客様と接しているということを忘れずに、業務に取り組むことを大切にしています。







本社 〒939-1701 富山県南砺市遊部 870 TEL: (0763)52-4069 FAX: (0763)52-4038



Bona ショールーム 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 3-16-1 KC ビル 11F TEL: (045)507-8681 FAX: (045)507-8682



横浜トレーニングセンター  
〒224-0063 神奈川県横浜市都筑区長坂 1-34



大阪トレーニングセンター  
〒578-0924 大阪府東大阪市吉田 5-17-20  
K・BLOC HANAZONO No.4

